

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名

放課後等デイサービス虹色DAYS

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	9	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	9	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	9	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	9	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	9	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	9	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	9	78%	22%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	9	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	9	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	9	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	9	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	9	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	9	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	9	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	9	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	9	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	9	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	9	100%	0%
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	9	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	0	9	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	0	9	100%	0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	9	89%	11%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	0	9	100%	0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	9	78%	22%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	0	9	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	9	78%	22%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	9	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	9	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	9	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	9	89%	11%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	9	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	9	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	9	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	9	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2	9	78%	22%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	9	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	9	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	9	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	9	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	9	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	9	100%	0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名放課後等デイサービス虹色DAYS

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	スペースは十分確保しており、そのスペースを最大限生かすよう活用できるプログラムの立案をいたします。	クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用を改善していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	安心安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しております。	職員会議などで支援方法や気付きを話し合い、支援の統一をしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1Fはバリアフリー構造となっております。	現在のご利用者様にとっては適切であっても今後ご利用する方で配慮する部分がありましたら改善いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日必ず職員会議でPDCAサイクルを活用し全職員が周知しております。	PDの後のCAでまだ足りない部分があるので、日々検証し、改善致します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様の意向を把握するよう努めました。	アンケートでいただきました貴重なご意見を元に改善すべき部分は早急に改善致します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページにて記載。また月一回の会報を配布。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価での結果を真摯に受け止め改善に努めております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	社内で研修委員会があり、1年を通して研修を受けております。	虐待防止研修、職員のスキルアップ研修等様々な研修の機会が確保されています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児童発達管理責任者を中心に支援会議を行い個別支援計画を作成しています。	職員一人一人が自覚をもって個別支援計画の作成に参加していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールを活用し作成しております。	事業所独自のアセスメントシートを使用し、状況は把握されているが、保護者との連携、確認しながら業務に反映させていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	月の初めに来月の活動プログラムを話し合い立案しております。	療育的視点から見た目的と手段を明確化し、全職員で話し合いながら行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	一つ一つの活動に対しPDCAサイクルを活用し活動の充実、また発達の視点、療育的視点からの反省を踏まえ次回につなげていっております。	必要性のあるもの、有用であるものをプログラムに組み込む。端的なものを安易に組み込まない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は、放課後 土曜日長期休暇などは1日となりますので、リズムを継続出来るよう設定しております。	利用者様の習慣化のためにも職員も習慣化に努めていかなければならない。決して行き当たりばったりの支援になってはいけない。平日、休日長期休みと充実してご利用していただけるよう日々改善いたします。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団活動を通じ個別に対応いたしております。	個々の状況に合わせて個別と集団で支援し、放課後等デイサービス計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	午前中必ず活動について話す時間を設けております。	職員の習慣化につながるよう必ず毎日徹底しておこなうようにしております。どんなに忙しい時でも必ず行うことが必要である。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	利用者記録をの記入について必ず一人では書かないよう徹底しております。	打ち合わせ時間を確保し、共有内容を深める必要があります。話し合いの機会を増やしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日々の記録の書き方研修実施。支援の検証改善は都度個別支援計画に反映できるように支援会議議事録を取る。	どのような声かけをしてどのような反応が見られたのか、職員の主観ではなく客観的に記入し、後日見ても様子が分かるようにしております。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	短期目標は6か月と設定してあるが、見直しの必要がある方に対しては適宜見直しを行う。	定期的なモニタリング、サービス計画の見直しの必要性の判断に努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインにのっとり支援を行っております。	ガイドラインの周知については常に把握できる体制づくりをする必要がある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会議等参加要請があればいつでも参加いたします。	参加要請だけではなく、こちらからご利用者の困りごと等あった場合参加するだけでなく要請することも必要である
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校との情報共有、連絡調整は毎日行っております。	学校と放課後等デイサービスは、連携を密にとつていかなければなりません。お互い歩み寄る必要が感じられます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		今後医療的ケアが必要な利用者様にご利用された場合など、連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	アセスメント等同意をとり児童発達支援事業所と連携をとり情報共有に努めております。	以前利用していたサービスと連携をとって相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業前から連携をとり今後の動向などをしり担当職員と話す機会がある。	地域の福祉サービス事業所との連携は密にとつているため今後も引き続き移行する場合などしっかりと連携をとっていく必要がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	管理者、児童発達責任者だけでなく全職員、出席し研修にしております。	継続して連携を図ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童館等が開催するイベントへは積極的に参加しています。	可児市文化創造センターアール様に協力していただき地域交流を図っております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	地域の児童部会に管理者から支援員まで適宜参加しております。	要請はなく、参加はありませんが、参加する意向はあり発信もしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳を利用しその日のあった出来事、成長、発達状況など常に連携を図っています	個別支援計画の見直しの期間で目標を達成している子に足しては適宜支援会議、モニタリング等をおこない、個別支援計画の見直しつなげる必要がある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		保護者に対してペアレントトレーニングをしています。現在は新型コロナウイルスの影響で行えていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時、重要事項説明書にて記載。	ご理解いただけるよう、契約時に丁寧な説明をさせていただき、ご質問があった場合にはその都度、対応をさせていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個別支援計画に練りこみ適宜対応しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者が集まって話をしたりする場を年数回提供しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情マニュアルの作成、担当制にし適切に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ホームページ・毎日発信、会報は月一で発送しております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報について研修を行い、啓発に努めています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	常にどうしたらよいのか職員一人の意見での対応にならないよう常に共有し共通意識のもと対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	見学等は常に開かれた状況で、対応しております。	事業所の行事に地域住民の招待等は行っていないが事業所等招待し夏祭り等イベントを開催しております。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	全マニュアル周知徹底を行っております。	コロナウイルスも5類へ移行したものの、今後も引き続き各種マニュアルと共に徹底していきます。	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回消防署への申請を行い実施しております。	様々な災害のケースを想定して、訓練を行う事で災害発生時にも適切に対応が出来るようにしております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止研修を必修研修とし新人職員から中堅、管理者まで徹底して行っております。	虐待防止研修を外部講師を招いて継続的に実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	切迫性、非代替性、一時性を伴う場合以外は行いません。	身体拘束は一切しておりません。生命に危険を及ぼす可能性がある場合はこれを阻止し、記録に残していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	同意書を作成し情報を周知しております。	アセスメントで保護者から子どもの食物アレルギーを確認しているが医師の指示書に基づいている訳ではありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット研修を行いヒヤリハットの事例集の作成に努めています。	広い視野を持ち、気づきが出来るように日々の支援の中で起きたヒヤリハットを記入し、情報共有を行います。